

高齢者のトマト収穫作業・キク摘芽作業 での作業能率・負担調査

高齢者労力の農業分野での活用に向けて

情報経営部 作業技術チーム TEL:022-383-8114

 宮城県農業・園芸総合研究所

研究の目的

県内でも基幹的農業従事者数に占める65歳以上の割合は増加し続けており、中心的な担い手の高齢化や担い手を補完する労力の不足が顕著です。また、これまでの調査から、認定農業者はシルバー人材センターの利用にメリットを見出していることが確認されています。そこで、高齢者が農作業分野で活躍できる仕組みを構築するために、雇用計画の作成に必要な品目ごとの作業能率などを評価しました。また、高齢者にとって安全で一定時間の従事が可能な作業であるかを確認するために、農作業の負担調査を行いました。

研究成果

1. 作業能率と作業精度の評価

トマト収穫作業とキク摘芽作業において、作業経験がほとんど無いシルバーセンター会員の作業能率は、習熟者（そのほ場で数年間作業経験がある者）の5～6割でした。また、作業精度に関しては、作業が進むにつれて上昇し、園主から高い評価を得ることができています。

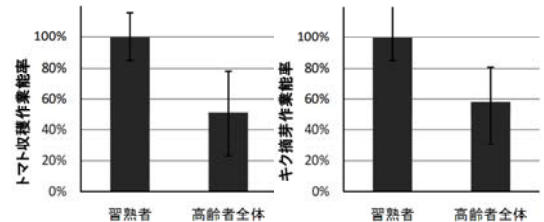
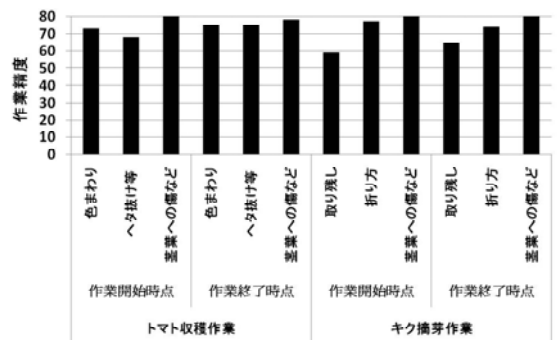
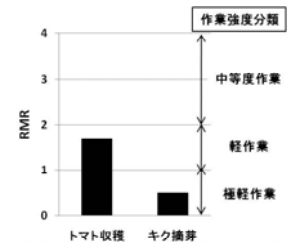


図1 トマト収穫及びキク摘芽作業の作業能率



* 作業精度はA、B、Cの3段階で評価し、A80点、B50点、C30点として計算する。

図2 高齢者のトマト収穫及びキク摘芽の作業精度



* 作業強度分類は、日本産業衛生学会による区分。

図3 高齢者のトマト収穫及びキク摘芽の作業負担

普及等の見込

シルバー人材センター、地域の農業者団体が連携して高齢者労力の活用が進んでいくと考えられます

宮城県
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地
TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)
ホームページ: http://www.pref.miyagi.jp/res_center/
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)